

女がいつまでも元気だということは
「セクシー現役」でもありますね。



さて「セクシー」って、女の専門用語?専売特許?



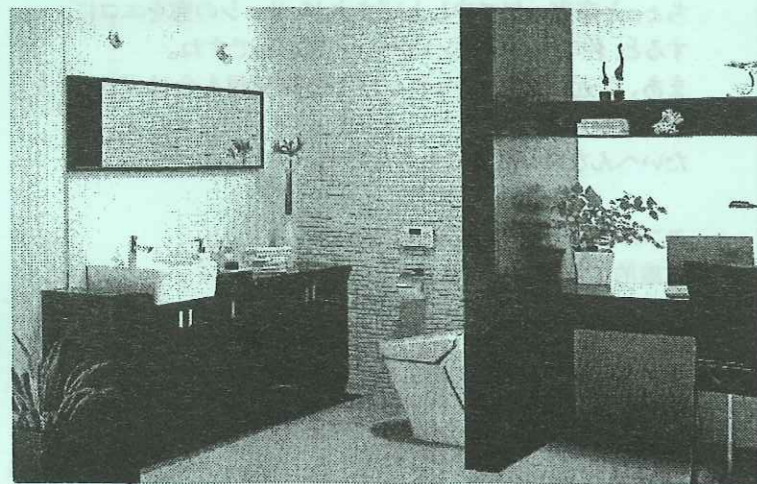
休日は全スッピンという人は、休日に着る服がどんどんダサくなっていきがちなんですって。いくらお休みでも、そこまで気を抜いては、ちょっと取り返しがつかない「おしゃれのミス」につながる可能性があるそうです。というのは、休日のおしゃれは、平日のおしゃれと違うことがミソなんです。オンのおしゃれとオフのおしゃれは相互交流関係にあり、双方にシナジー効果が発揮されるようです。つまり休日のおしゃれが、また平日のおしゃれ度を高めていく!これって「セクシー」にも使えそうじゃありませんか。

人の心をくすぐるために、自分はどんなスキルや道具を持っているのか?たまには振り返ってみましょう。「セクシー現役」って、やっぱり大切な女の勲章!

これはちょっと「驚き」。

気になる臭いや湿気がいつの間にか、なくなってる!

「エコカラット」(INAX)



家庭の奥様にひたひたと静かにヒットしている人気者。

トイレはいうに及ばず、ペットが家族の一員のリビングにも絶大なる信頼。

それはちょっと言い方が過激ですが「ファブリーズいらず」。人が不快と感じるトイレ臭・タバコ臭・ペット臭などのニオイの原因であるアンモニアなどを吸着し、悪臭を軽減してくれるんです。

今度商品の品揃えもぐっと増えたので、个性的なお部屋にする内装材としてもマークです。

エコカラットは粘土鉱物など微細な孔を持つ原料を焼成した内装壁材で、湿気を吸ったり吐いたりしてくれるので、お部屋の空気がいつも「カラット」します。

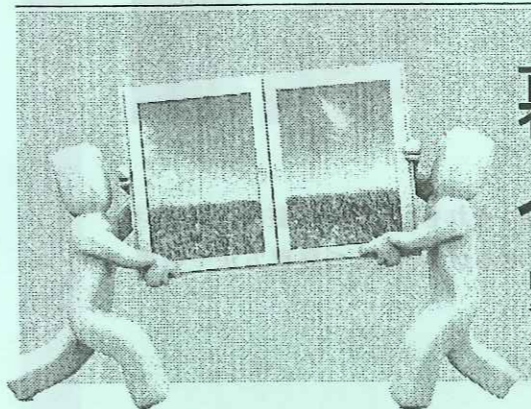
とにかく一番のお奨めであり、効果が実感できるのはトイレの壁をエコカラットに。

▼お問い合わせは

春建設 〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原 2015-11 Tel.24-0749



その心は、大量生産、大量消費、大量破棄社会からのGood Bye! あり余っているから、すぐお金で買えるから、いつでもどこにでも捨てられるから。そんな社会と暮らしが、本当に望んだものなのか、快適なのか。これからはまず疑おう。それには、きちんとして、わかりやすく一流の物差しがある。その物差しは、風土と季節、文化的、伝統的がいい。みんなに共通で、しかも変わることがないから。日本人なら毎日の生活の中で使いこなせるから。

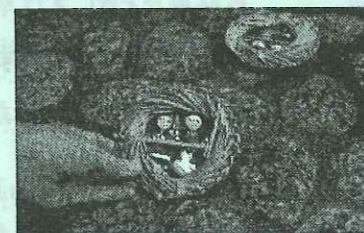


暮らしの歳時記 インテリアの室礼

四季折々の行事の心や季節の情緒をあらわすことのできるインテリアの室礼。昔から伝えられてきた暮らしを大切にしながら、これからの生活をより豊かに楽しんでいきたい。そんなちよこっとアレンジしたインテリアの室礼をご紹介します。

3月の歳時記「上巳、桃の節供」の室礼

3月3日は「桃の節供」。女の子のすこやかな成長を祈る年中行事として知られています。桃の節供の由来は中国の「上巳の節供」で、3月最初の巳の日である上巳(じょうし)に水辺で身を清める行事でした。それが日本に伝わり、紙や布、草や木などで作った人形(ひとがた)をさすって身の穢れや病をうつし、「流し雛」といって川へ流すようになりました。その後、3月3日に定着し、災厄を祓い男女の健やかな成長を願う行事が雛祭と呼ばれ、それが次第に女の子のお祭りとなったようです。今でもお祭りが終わった後、雛人形を川に流す流し雛の風習が各地に残っています。



「桃の節供」の室礼としてはたくさんありますがその一部をご紹介します。

・雛人形

はじめの頃の雛人形は紙でできて「立ち雛」だったそうです。玄関などの飾り用は折り紙で手軽に作るのもいいでしょう。

・桃の花と菜の花

桃の節供の「桃」については旧暦当時の3月を代表する花だということ、桃は「女性」を思い起こさせる花であるということから女の子の節供には「桃の花」となったのでしょうか。

また春をイメージさせる暖かい花であるためか、桃の花の他に菜の花を飾る習慣も有るそうです。菜の花は早世した子供達をしのんで手向けたものようで、桃の花と菜の花を組み合わせてディスプレイすると、不思議と「桃の節供」っぽい室礼になります。

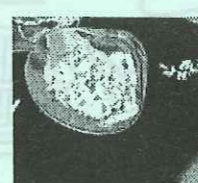
・桃花酒

古くは「桃の節供」にちなんだお酒として、酒の中に桃の花を刻んだ、風流な桃花酒が楽しまれていました。

「桃の節供」といえば白酒が有名ですが、この桃花酒が本式のようなようです。桃の花は「邪気を祓い、長生きができる強い生命力の象徴」といわれていて大変縁起の良いお酒です。

・はまぐり

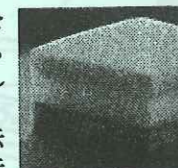
同じ一對の貝殻同士でなければ合わないということから貞操の象徴とされて、古くからお吸い物としてお祝いの膳に並べられました。そのはまぐりも「桃の節供」の室礼として飾ってみるのもおしゃれです。



はまぐりの貝合わせに色を塗ったりして、お盆に一對のせてみましょう。

ひなあられを盛っても素敵です。小さなスペースでも飾りつけることができます。

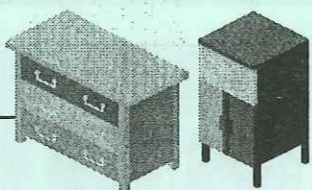
ほかにも紅白緑を重ねた菱餅や、いろんな色を付けた雛あられもお祝いによく食べられました。今でも菱餅といえばひな祭りを思い浮かべたりしますね。「桃の節供」といってもだんだんと形を変えて伝わり今に至っています。しかし古くからずっと伝わっているものもたくさんあります。そんなアイテムを自分なりにアレンジしてお部屋のインテリアに取り入れて「桃の節供」を楽しんでください。



大切なものを賢くしまう 収納術



「もの」がいっぱいの現在。住まいの収納は大きな関心事のひとつになっています。住まいにある様々な「もの」はその収納場所や収納方法に決まりはなく、それぞれのライフスタイルで自由にできるものです。豊かな発想と自由な表現で楽しい収納を考えましょう。



ライフスタイル別の収納

収納を考えるとき最も大切なことは自分にあった収納方法を選ぶことです。それも「整理」と「整頓」という目的にそって考えましょう。その中で何を最優先すれば自分が心地よく暮らせるかを判断して整理方法や整理場所を考えます。

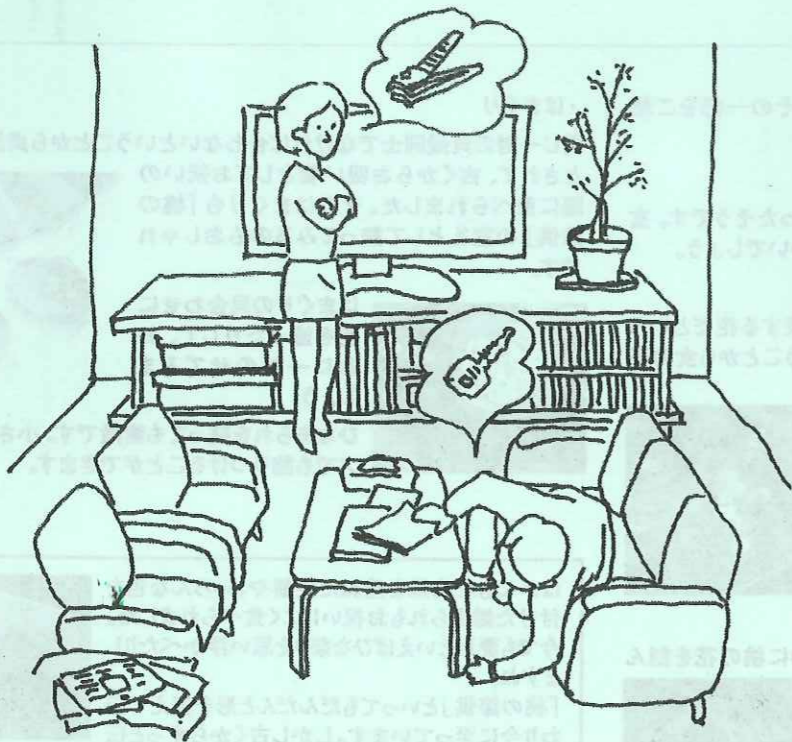
「整理」する目的

- 必要なときにすばやくそのものを使うため
- ものを使いやすくするため
- 散らかりにくくするため

「整頓」する目的

- 見た目がきれいで気持ちよく暮らすため
- 住まいを居心地の良い場所にするため
- 他人に見られて恥ずかしい思いをしないため

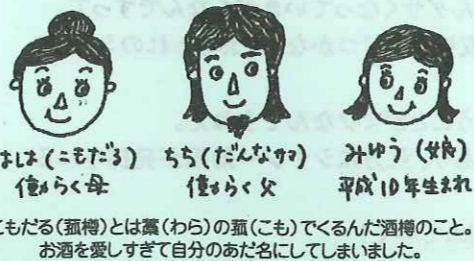
「整理」する目的を考えると、個人的に使うものと他人(家族)と共有して使うもので、収納方法や場所が変わってきます。個人しか使わないものなら自分がどこにしまったか分かれば済みますが、共有するものはその収納場所を決めておかなければ目的を達成できません。



また部屋が散らかっていても気にしない人の部屋では、それこそ使い勝手を優先すれば良く、「収納」は自由です。

「整頓」する目的では個人の主観が重要になります。見た目のきれいさや居心地の良さは、それぞれ個人個人でずいぶん違ってきますし、他人に見られて恥ずかしいと思う気持ちの散らかり具合にも個人差があります。自分の気持ちを見つめ、また家族とよく話し合っ、快適に暮らせる状況を把握しておきましょう。

こもだるサンの 子育て日記



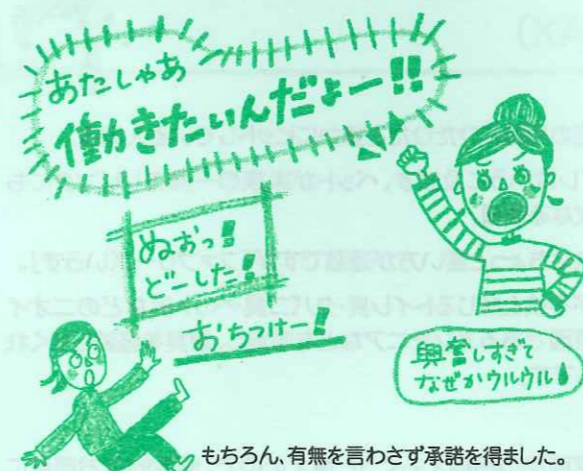
働きたーい

超未熟児 835グラム
で誕生した美優。
とっても元気に成長中です。



ところで、こもだるサン。
はじめての子育て&専業主婦生活もそろそろ2年。
ふつふつと働きたい願望が膨らみはじめて破裂しそうです。

溝を持って
だんなサマに相談です。…と言うより“宣言”です。



もちろん、有無を言わず承諾を得ました。

だんなサマのOKはカンタンにももらえただけど
こもだるサンの前には乗り越えなければならぬ大きな山が
立ちはだかっているのです。

さあ! 登りつてきんしゃい!



ああ...
登ってるせ!

結婚&出産前と同じ、グラフィックデザイナーの
お仕事がどうしてもしたい。
まずは仕事探しと保育園探しからスタートです。



家が完成するまでには、さまざまな専門の職人が関わります。
その職種はおよそ二十。
面白いのは棟梁の下に、突如現れ、自分の持ち場が終わると、疾風のように去っていくありさま。
家づくりを知るには多々あれど、職人の役割を知れば、それは生きた勉強。

ガラス屋は時代の‘華’。

それはガラスがCO2の発生を防いでくれるからです。
夏の暑い日ざしを防いで<遮熱>、冷房の効きを良くし、
冬は寒い外気を防いで、暖かい空気を室内にしっかり閉じ込め<断熱>、暖房の使いすぎをセーブしてくれるんですね。
つまり地球の要請である「住まいの遮熱と断熱」はなんと窓が担っているのです。

昔と随分違ってガラスも21世紀の暮らしに即応。
我らの自慢は「エコガラス」。
ちょっと商売っ気で申し上げますが、サッシの窓をエコにすると、住宅エコポイントがついてくるんですね。
まあ、ご近所の奥様へのエコな情報発信も今はガラス屋の仕事のうち。
たいへんな時代になったもんです。

エコガラスなら、ほら、結露なし。
健康的で清潔な暮らし。



エコガラス



1枚ガラス

永六輔「職人」より
もらう以上に、与える。
それが「いい仕事してます」
なんだよ。